



The Great Plains Laboratory, Inc.



世界初!! xMAP®(免疫蛍光法ビーズテクノロジー)を用いた - IgGフードMAP - IgG食物過敏症プロファイル

IgG フードMAPが優れている6つの理由



190の食物を分析

このパネルにはアメリカ、アジア、地中海の食事で一般的な幅広い食品が含まれ、また検体要件を1mLの血清または乾燥血液スポット最低3サークル(推奨5サークル)と少ない血液量でも検査を可能としました。



感度と特異性の向上

GPLの蛍光読み出しを備えたxMAP®アッセイ(免疫学的検査)は、ELISA検査よりもさらに感度が高いことがわかっています。IgGフードMAP検査は、検査用に開発した最新のテクノロジーを用い、ELISA検査よりも高い精度で陽性および陰性の検体を検出します。



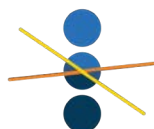
画期的なテクノロジーを適用

食物抗原に特異なIgG抗体は、xMAP®テクノロジーを使用して、多重磁気ビーズによって仕分けられます。xMAP®ビーズベースの免疫学的検査は、たった2つのウェルで190の食品すべてに対するIgG抗体の同時検出を可能にし、従来のプレートベースのELISA試験の感度と特異性を失うことなく、検体量の要件と試薬を削減します。アップグレードされた免疫学的検査はより早く、より簡単に効率よく再現性の高い検査を提供します。



環境にやさしいテクノロジー

xMAP®ビーズベースの技術は環境に優しく、プラスチック汚染を低減します。ELISAの190食品のパネルでは、1検体あたり190ウェル(2プレート)が必要です。対照的にビーズベースのプラットフォームでは、1検体あたり2つのウェルしか必要ありません。言い換えると、ELISAでは48検体の検査を行うために96ものプレートを使用しますが、xMAP技術は1プレートで行うことができます。



結果の信頼性の向上

多重磁気ビーズベースの免疫学的検査では、食品の抗原性タンパク質がまずビーズに共有結合されます。ビーズは患者の検体と混合され、ビーズに結合した抗原が検体に存在する特定のIgG抗体を捕捉します。各検体の食品特異的であるIgG抗体レベルは、IgGに対して蛍光識別された抗体で検出されます。また、すべての検査で、正確な結果を保証するための追加の品質コントロールビーズも含まれています。蛍光信号は、xMAP®アナライザーを使用して測定されます。抗原特異的ビーズごとに検出される食品特異的抗体の量は、蛍光シグナルに正比例します。蛍光量が高いほど、より特異的なIgG抗体が検体中に存在します。検査結果の確認段階では、品質保証(QA) チームが、機器と試験法の仕様が品質管理測定範囲内であることを慎重に検証します。



特定の食品抗原タンパク質の検査

今回の更新で、GPLはELISAの単一検体検出から複数検体検出に技術革新を行っています。多重化されたビーズベースの試験法は、ビーズに共有結合された食品抗原タンパク質に対するIgGのみを検出するため、ELISAよりもタンパク質に特異的です。ELISAでは、タンパク質の共有結合はなく、代わりにタンパク質や他の抗原がプラスチックウェルの表面に吸着し結合します。カンジダやその他酵母菌などの糖鎖(グリカン)に富んだ分子は表面のこの非特異性により結合できます。このため、カンジダ・アルビカンスと酵母菌のみELISAを利用します。また、追加された数多くの食品目の中で、追加された麻(ヘンプ)は医療CBDを利用する方へ興味深いマーカーとなるでしょう。



The Great Plains Laboratory, Inc.

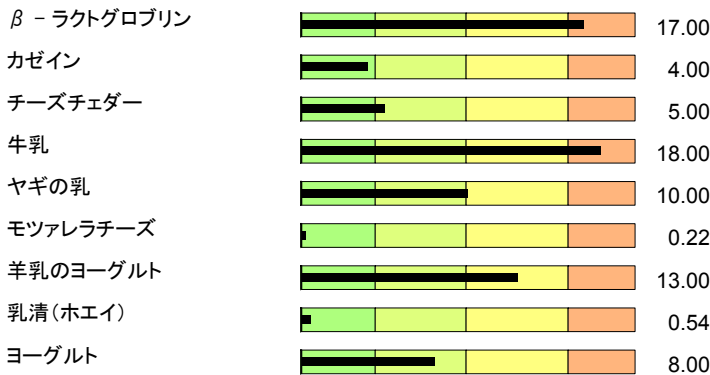


検査番号# : 20000
 患者氏名 : FName190 LName
 患者の生年月日 : Oct 10, 2010
 性別 : F

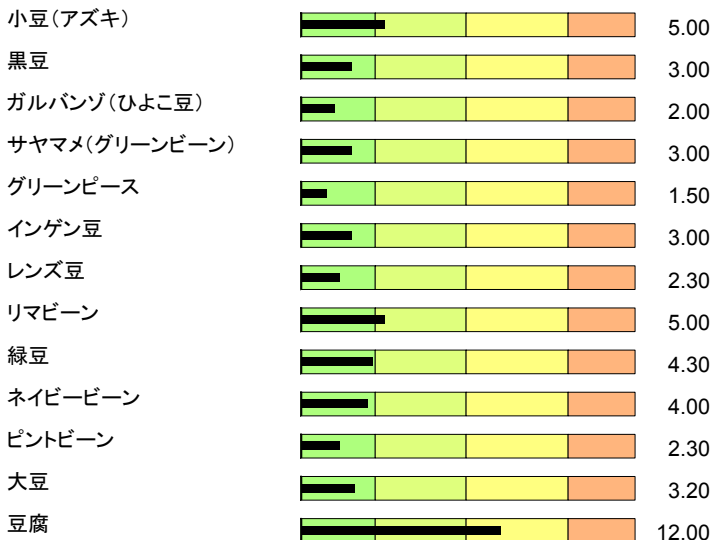
担当医師 :
 検体採取日 : Apr 15, 2020
 採取時刻 :
 結果印刷日 : Jul 7, 2020

IgGフードMAP(190)-血清 MFI x 1000

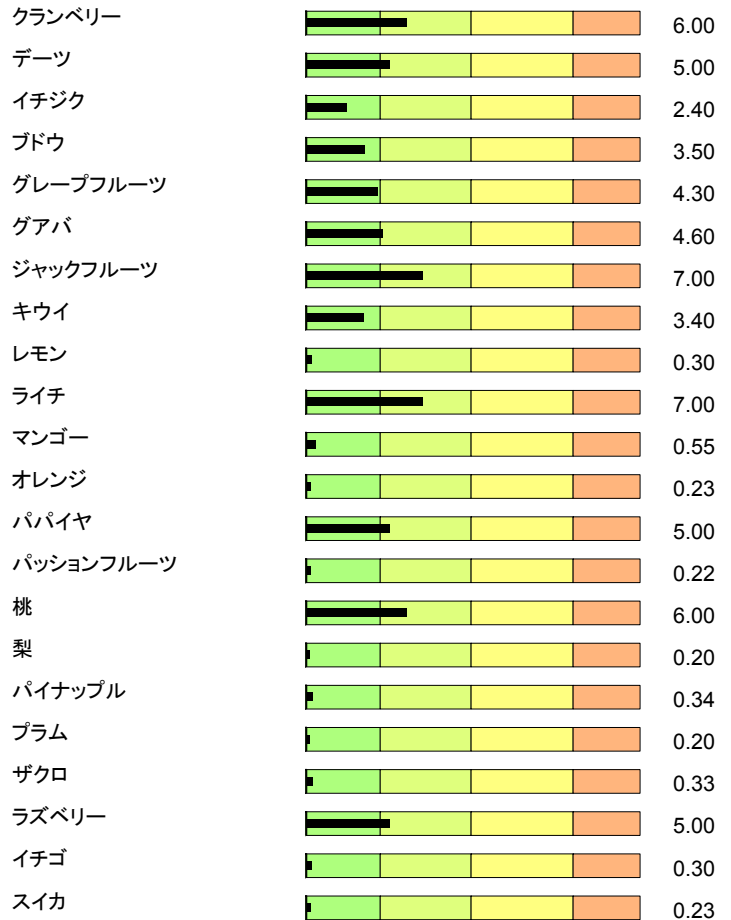
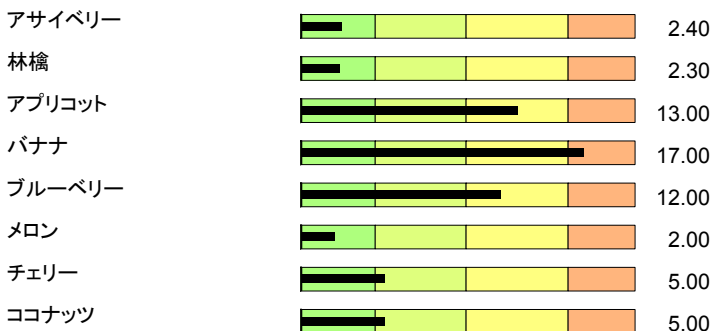
乳製品



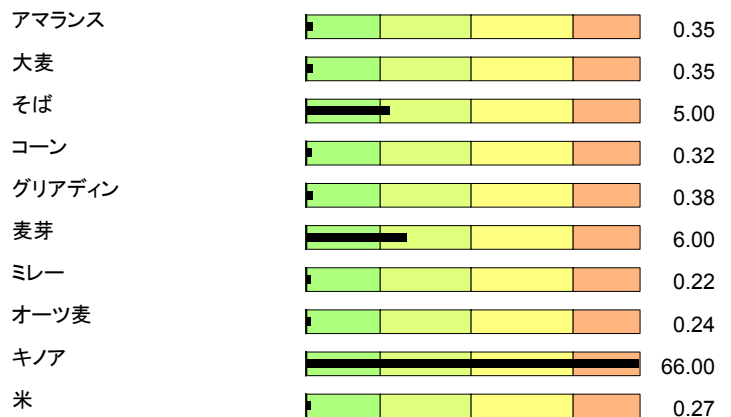
豆類



果物



穀類



この検査は、カンザス州レネクス市に所在するグレートブレインズ研究所によって開発され、分析されています。この検査はFDAの審査を得たものではありません。



The Great Plains Laboratory, Inc.



検査番号# : 20000
 患者氏名 : FName190 LName
 患者の生年月日 : Oct 10, 2010
 性別 : F

担当医師 :
 検体採取日 : Apr 15, 2020
 採取時刻 :
 結果印刷日 : Jul 7, 2020

IgGフードMAP(190)-血清 MFI x 1000

穀類	続き
ライ麦	0.24
ソルガム	0.25
テフ	0.26
小麦グルテン	0.12
全粒小麦	0.00

魚/シーフード				
アワビ				0.34
アンチョビ				0.25
バス				0.26
カツオ				0.25
タラ				0.65
カニ				0.26
オヒョウ				0.26
鰯(あじ)				0.68
ロブスター				0.54
サバ				0.87
たこ				0.55
牡蠣(カキ)				0.70
さんま				0.76
スズキ				0.70
鯛				0.87
サーモン				0.78
イワシ				12.00
ホタテ貝				0.87
エビ				0.80
あさり				12.00
いか				0.34
ティラピア				0.12
マス				23.00
マグロ				0.12

肉/鶏				
牛肉				44.00

鶏肉	0.43
アヒル	0.23
卵白	0.38
卵黄	0.36
ガチョウ	33.00
子羊	0.34
豚肉	3.00
七面鳥(ターキー)	0.43

ナッツ類と種				
アーモンド				0.54
ブラジルナッツ				0.22
カシュー				5.00
栗(くり)				0.24
チアシード				0.34
亜麻仁				6.00
ヘーゼルナッツ				0.35
麻(ヘンプ)の実				0.34
マカデミアナッツ				0.34
落花生(ピーナッツ)				0.38
ペカン				4.00
松の実				2.50
ピスタチオ				2.60
かぼちゃの種				2.80
胡麻(ごま)				0.14
ヒマワリの種				2.90
くるみ				55.00

野菜				
アーティチョーク				4.50
アスパラガス				5.20
アボカド				1.00
たけのこ				55.00
もやし				2.00
ビート				55.00

この検査は、カンザス州レネクス市に所在するグレートブレインズ研究所によって開発され、分析されています。この検査はFDAの審査を得たものではありません。



The Great Plains Laboratory, Inc.



検査番号# : 20000
 患者氏名 : FName190 LName
 患者の生年月日 : Oct 10, 2010
 性別 : F

担当医師 :
 検体採取日 : Apr 15, 2020
 採取時刻 :
 結果印刷日 : Jul 7, 2020

IgGフードMAP(190)-血清 MFI x 1000

野菜	続き
ピーマン/パプリカ	3.00
ゴーヤ	4.00
ブロッコリ	5.00
芽キャベツ	6.00
ごぼう	7.00
キャベツ	8.00
にんじん	9.00
カリフラワー	10.00
セロリ	2.00
唐辛子	2.00
きゅうり	2.00
茄子	3.00
えのき茸	4.00
ニンニク	5.00
ケール	6.00
リーキ(西洋ネギ)	7.00
レタス	8.00
レンコン	9.00
白菜	0.00
グリーンオリーブ	11.00
玉ねぎ	12.00
ポルタベツラ(キノコ類)	13.00
じゃがいも	3.00
かぼちゃ	2.00
だいこん(ラディッシュ)	1.00
海藻昆布	1.70
海苔のり	0.13
わかめ	1.90
しいたけ	2.00
ほうれん草	2.10
スイートポテト(サツマイモ)	2.10
トマト	1.20

ヤムイモ	1.20
イエロースカッシュ	1.30
ユッカ	1.40
ズッキーニ	15.00

ハーブやスパイス

バジル	1.60
ペイリーフ	1.70
黒コショウ	1.80
カイエンペッパー	1.00
コリアンダー	2.00
シナモン	3.00
クローブ	4.00
クミン	2.00
カレーパウダー	2.00
ディル	3.00
ショウガ	4.00
ホップ	5.00
ミント	4.00
味噌	2.00
マスタードシード	3.00
オレガノ	2.00
甘唐辛子	3.00
ローズマリー	4.00
セージ	4.00
タラゴン	5.00
タイム	2.00
ターメリック	1.00
パニラビーン	2.00

その他

ブロメライン	4.00
砂糖	2.00
ココア豆	1.00
コーヒー	3.00

この検査は、カンザス州レネクス市に所在するグレートブレインズ研究所によって開発され、分析されています。この検査はFDAの審査を得たものではありません。



The Great Plains Laboratory, Inc.



検査番号# : 20000
 患者氏名 : FName190 LName
 患者の生年月日 : Oct 10, 2010
 性別 : F

担当医師 :
 検体採取日 : Apr 15, 2020
 採取時刻 :
 結果印刷日 : Jul 7, 2020

IgGフードMAP(190)-血清 MFI x 1000

その他

続き

緑茶		2.00
はちみつ		1.40
肉糊(トランスグルタミナーゼ)		2.30
ウーロン茶		1.20

反応性の概要

高い

β - ラクトグロブリン
 キノア
 たけのこ
 ビート
 牛乳

ガチョウ
 くるみ
 バナナ
 マス
 牛肉

中程度

あさり
 イワシ
 グリーンオリーブ
 ブルーベリー
 ヤギの乳
 羊乳のヨーグルト

アブリコット
 カリフラワー
 ズッキーニ
 ポルタベツラ(キノコ類)
 玉ねぎ
 豆腐

低い

アーティチョーク
 カシュー
 グアバ
 ケール
 ごぼう
 そば
 チーズチェダー
 デーツ
 ニンニク
 ブロッコリ
 ヨーグルト
 ラズベリー
 リマビーン
 レンコン
 小豆(アズキ)
 芽キャベツ

アスパラガス
 キャベツ
 クランベリー
 ココナッツ
 ジャックフルーツ
 タラゴン
 チェリー
 にんじん
 パパイア
 ホップ
 ライチ
 リーキ(西洋ネギ)
 レタス
 亜麻仁
 桃
 麦芽

食品抗原スケール	MFI* x 1000
重要ではない	< 4.47
低い	4.47-9.89
中程度	9.90-15.99
高い	>=16

(*) 平均蛍光強度 (MFI)

この検査は、カンザス州レネクス市に所在するグレートブレインズ研究所によって開発され、分析されています。この検査はFDAの審査を得たものではありません。



検査番号# :	20000	担当医師 :	
患者氏名 :	FName190 LName	検体採取日 :	Apr 15, 2020
患者の生年月日 :	Oct 10, 2010	採取時刻 :	
性別 :	F	結果印刷日 :	Jul 7, 2020

概要

IgGフード MAPは、食品由来の抗原を使用して、190の食品それぞれに対するIgG免疫反応性を評価します。

患者の血清または乾燥血液スポットの検体は、190の食品それぞれからのタンパク質抽出物に導入されます。検査結果は、これらの特定の食品タンパク質に対するIgG抗体のレベルを示しています。食物抗原と患者のIgG抗体の間に食物特異的な結合が発生した場合、結果はグラフ上に反応性の尺度に関連して低、中、または高として表示されます。

IgGフード MAPの結果を使用した、除去食または除外食ダイエットの作成:

IgG反応性食品に対する症状反応だけで特定の食品と結びつけるのは困難です。一部またはすべての反応性食品を排除する食事は、症状を改善する可能性があり、完全な除去食または元素ダイエットほど大変ではありません。IgG反応性食品を食事から取り除くに従い、消化、皮膚の状態、エネルギーレベル、気分、または痛みのレベルの変化を観察することは有用です。

カンジダ(酵母属)に対する高レベルのIgG抗体:

カンジダは健康全般に重要であるため、カンジダに対するIgG抗体(血清およびDBS)のマーカーが本検査には含まれていません。カンジダに対するIgG抗体の存在は、腸の異常増殖の現在または過去の感染が原因である可能性があります。カンジダマーカーの上昇は、免疫系がカンジダと相互作用したことを示します。カンジダ菌および関連真菌種は腸内フローラの通常の構成要素ですが、抗生物質、経口避妊薬、化学療法、または抗炎症ステロイドの使用は、真菌の異常増殖および腸内フローラのバランスを崩す可能性を高めてしまいます。食事の改善や抗真菌療法は、カンジダ抗体を低下させ、症状を軽減する可能性があります。

IgGと食事療法に関する追加情報と参照については、次のWebサイトをご覧ください。(英語)www.greatplainslaboratory.com, Select A Test - IgG



Congratulations, FName190

IgG検査の実施は、健康の向上のためのとても重要な一歩です。結果に基づいた食品ローテーションダイエットは、症状をさらに改善する可能性があります。グレートプレーンズ研究所

The Great Plains Laboratory, Inc.

IgG検査結果に基づいた食品ローテーションダイエット

次のローテーションダイエットは、IgGの結果に基づいて症状を軽減するための取り掛かりの例として示されています。

IgGレベルの上昇を示した食品（中程度または高いカテゴリーのもの）は、食事のローテーションから除外されています。臨床的に重要でないか低いカテゴリーにある食品は、ローテーションに含まれます。このローテーションダイエットは、あなたの結果について臨床的に重要でないか低いカテゴリーである食品を基に作られています。関連する食品群は類似の免疫反応性を持つ類似のタンパク質を共有する可能性が高いため、食品はキャベツ科や魚科などの食品科によってグループ化されています。

ローテーションダイエットは、食品に対する症状などの悪い反応を減らすために推奨される方法です。

一般的に、数日間にわたってさまざまな食品群からの食品を摂取することは、全体的な炎症および毒性負荷を軽減するだけでなく、余計な食品過敏症を発症する機会を減らします。ローテーションダイエットを続ける期間と負荷試験として食品を再導入する時期についてのアドバイスは、医療関係者に相談してください。多くの人は、IgGレベルが正常に戻るには、少なくとも1年以上の食物除去とローテーションが必要です。さまざまな自然食品を食べ続けることは、健康的なライフスタイルの選択をすることです。

ローテーションダイエットは全体的な食物反応を軽減できるかもしれません：

毎日同じような食べ物を食べることは、忙しい生活に取り入れやすくパターン化しがちです。ただし、それは食品の反応性を高める可能性があります。食品をローテーションさせると、免疫システムへの負担が軽減され、全体的な毒素負荷が減少する可能性があります。また十分な栄養と食品の多様性を体に提供します。食物への禁断症状が減り、特定の食物に対する反応の認識が高まる場合があります。食品をローテーションすることは、詳細な食品と症状の毎日の記録が維持されている場合は特に、隠された食品への感受性を明らかにする可能性があります。

本ローテーションダイエットはIgG検査結果のみに基づいていることに注意し、本結果のみでダイエットを実施せず、必ず担当医の指示に従ってください。

食物アレルギーに対するIgE抗体（即時アレルギー）の検査は、たとえ明らかなヒスタミン反応が症状にでていなくても、このローテーションダイエットを始める前に考慮されるべきです。最も一般的なIgE反応は、乳製品、卵、ピーナッツ、またはシーフードにみられます。IgEアレルギーは、小児期に最も一般的であり、成人期までになくなることがほとんどです。

IgGと食事療法に関する追加情報と参照については、次のWebサイトをご覧ください。（英語）www.greatplainslaboratory.com Select a Test - IgG



あなたの検査結果を基にした、4日間のローテーションダイエット FName190 LName

1日目	2日目	3日目	4日目
乳製品			
チーズチェダー モツァレラチーズ ヨーグルト	乳清(ホエイ)		
豆類			
黒豆 サヤマメ(グリーンビーン) インゲン豆 ネイビービーン ピントビーン	小豆(アズキ) 緑豆 大豆	レンズ豆 リマビーン	ガルバンゾ(ひよこ豆) グリーンピース
果物			
林檎 デーツ ジャックフルーツ ライチ パッションフルーツ 梨	アサイベリー メロン グレープフルーツ グアバ レモン オレンジ ザクロ スイカ	チェリー クランベリー イチジク ブドウ キウイ 桃 プラム ラズベリー イチゴ	ココナッツ マンゴー パパイア パイナップル
穀類			
ミレー ソルガム テフ 小麦グルテン 全粒小麦	アマランス そば オーツ麦	コーン	大麦 麦芽 米 ライ麦

魚/シーフード			
アンチョビ タラ オヒョウ	アワビ カニ 鰯(あじ) ロブスター たこ 牡蠣(カキ) ホタテ貝 エビ いか ティラピア	スズキ 鯛 サーモン	バス カツオ サバ さんま マグロ
肉/鶏			
子羊	鶏肉 アヒル 七面鳥(ターキー)	卵白 卵黄	豚肉
ナッツ類と種			
アーモンド 亜麻仁 松の実 胡麻(ごま)	栗(くり) ヘーゼルナッツ 麻(ヘンプ)の実 ペカン ヒマワリの種	カシュー チアシード マカデミアナッツ	ブラジルナッツ 落花生(ピーナッツ) ピスタチオ かぼちゃの種
野菜			
ブロッコリ 芽キャベツ キャベツ ケール 白菜 だいこん(ラディッシュ) スイートポテト(サツマイモ) ヤムイモ	アーティチョーク ゴーヤ ごぼう きゅうり かぼちゃ 海藻昆布 海苔のり わかめ ほうれん草 イエロースカッシュ	アスパラガス アボカド ピーマン/パプリカ 唐辛子 茄子 ニンニク リーキ(西洋ネギ) じゃがいも トマト	もやし にんじん セロリ えのき茸 レタス レンコン しいたけ
ハーブやスパイス			
ベイリーフ シナモン クローブ マスタードシード タラゴン	黒コショウ カイエンペッパー ショウガ 味噌 甘唐辛子 ターメリック	バジル ミント オレガノ ローズマリー セージ タイム	コリアンダー クミン カレーパウダー ディル ホップ バニラビーン
その他			

その他カテゴリーの食品はローテーションに含まれていません。中程度および高い抗体反応の食物を除去してください。



検査番号# : 10001
患者氏名 : FATFNAME DBS
患者の生年月日 : Oct 25, 2007
性別 : F

担当医師 :
検体採取日 : Apr 15, 2020
採取時刻 :
結果印刷日 : Jul 7, 2020

IgG アレルギー検査－酵母菌(2) DBSカード



反応性の概要

高い
カンジダ・アルビカンス

中程度
酵母菌

重要ではない	1.00 - 1.99
低い	2.00 - 3.49
中程度	3.50 - 4.99
高い	>= 5.00

サッカロマイセス・セレビシエ酵母菌スケール

重要ではない	< 3.49
低い	3.50 - 6.99
中程度	7.00 - 14.99
高い	>= 15.00

カンジダスケール

カンジダ・アルビカンスのスケールは、カンジダ特異的免疫グロブリンのバックグラウンド値が検査されたほぼすべての個人に存在するという観察結果を含んでいます。これは、その臨床的重要性をより明確に説明することを目的としており、1,000人の患者の無作為の部分集合から得られた人口パーセンタイル順位に沿って確立されています。

この検査は、カンザス州レネクス市に所在するグレートプレインズ研究所によって開発され、分析されています。この検査はFDAの審査を得たものではありません。